

聴能だより

令和2年7月2日発行 No.2

山梨県立ろう学校 聴能係

暑い日が続いていますが、補聴器や人工内耳のお手入れはいかがですか。

個人の補聴器は、装用者のきこえに合わせて調整されています。しかし、個人の補聴器は、1m程度の距離が最も有効であり、騒がしい場所や反響する場所、話し手との距離が離れている場所では、補聴器をしていても必要な音が聞き取りにくくなるので、集団補聴システムが必要です。さて、本校の補聴援助システムをご存じですか。

補聴援助システムってな～に??

本校では・・・

集団補聴器（磁気誘導ループ方式）

磁気ループは世界的に広く用いられているそうです。話し手の声をワイヤレスマイクで拾い、アンプを通して、床の下にしかれた配線に流し、磁界を発生させます。個人用補聴器はテレコイルと呼ばれる受信コイルで磁界を拾って増幅させ、耳に届けるしくみになっています。

以前本校では、このシステムを多く使用していました。現在は、体育館や交流ホール、幼稚部教室で使用されています。



ワイヤレスマイク



ロジャー（デジタル無線方式システム）

ロジャーは、話し手が使用する「送信機（ワイヤレスマイクロホン）」と、聞き手が使用する「受信機」で構成されるシステムです。ワイヤレスマイクで拾った音声をデジタル無線で受信機に電波が送られる仕組みになっています。

現在、本校では、小学部から高等部が実態に合わせて使用しています。また、校外学習や居住地校交流で活用されています。ロジャーは、ワイヤレスなので校外にも持ち出すことができます。騒がしい環境下でも聴きたい音を聞くことができます。

ワイヤレスマイク



受信機



<参考資料>

・にじいろ補聴器

<https://nijiho.com>

・フォナック

<http://cat-blue-df15c9216ed12777.znrc.jp>

ロジャーがあると、よく聴こえる。

距離があっても聴こえる。

